



# 清和

「あハは」と笑顔で  
笑い合える清和っ子  
(児童会年間スローガン)

令和4年10月3日  
第6号(10月号)  
鹿児島市立清和小学校

## 様々な経験から学ばせる

校長 狩集 淳

小学生の時期は、子供たちに学ぶことの楽しさやできることの喜びを感じさせ、将来の生き方につなげていく基礎的な力を育てていくことが大切です。

一生懸命に体を動かしたり、音楽や絵画などのすばらしい芸術にふれたりしながら、多くの様々な経験を積み上げることにより、楽しみながら学ぶ力や豊かな感性、新しいことを生み出していこうとする創造力の育成に繋がります。また、自分の好きなことや興味があることを続けることによって、忍耐力やあきらめない心の育成にも繋がります。

子供の時は、多くの時間をそのような活動に使い、たくさんの経験をさせることが大切です。家庭におかれても、そのような環境を整え、子供たちに様々なチャレンジする機会を設けてあげてください。



5日(水)	バス学習(5年)	1~7日	地域が育む「かごしまの教育」県民週間
6日(木)	避難訓練(火災)	1日(火)	学校自由参観
8日(土)	土曜授業	2日(水)	体育学習発表会
17日(月)	家庭教育学級「ヨガ体験講座」	4日(金)	体育学習発表会(予備日)
26日(水)	小学校陸上記録会	10日(木)	就学時健康診断 3校時授業
 ※ 現時点での予定です。変更になる場合がありますのでご了承ください。		12日(土)	土曜授業 土曜参観
		21日(月)	バス学習(2年)
		22日(火)	バス学習(1・3年)
		25日(金)	学級懇談会・PTA(特)
		30日(水)	持久走大会(1・3・5年) 学級懇談会・PTA(1・3・5年)

### ◆令和4年度いじめ防止啓発強調月間 「ニコニコ月間」作品コンクール

標語部門

- 特選 1年 [ ]
- 特選 2年 [ ]
- 特選 4年 [ ]
- 特選 4年 [ ]

### ◆令和4年度県図画作品展 市長会会長賞 1年 [ ]

- ◆南日本硬筆展
- 南日本新聞社賞 3年 [ ]
- 南日本書道会賞 5年 [ ]
- 6年 [ ]

### ◆令和4年度鹿児島市小学校理科研究記録展

- 特選 3年 [ ]
- 特選 2年 [ ]

### ◆第67回鹿児島県吹奏楽部コンクール 銀賞 清和小学校吹奏楽部

## 永田川カヌー体験

9月11日(日)、カヌー同好会による永田川カヌー体験が行われました。

さわやかなお天気で、体験にはもってこいの条件がそろいました。遠くに桜島を臨みながら水面すれすれを進む爽快感を体験できた子供たち。地元の自然をカヌーで冒険したことは、たいへん貴重な体験となったことと思います。



## 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

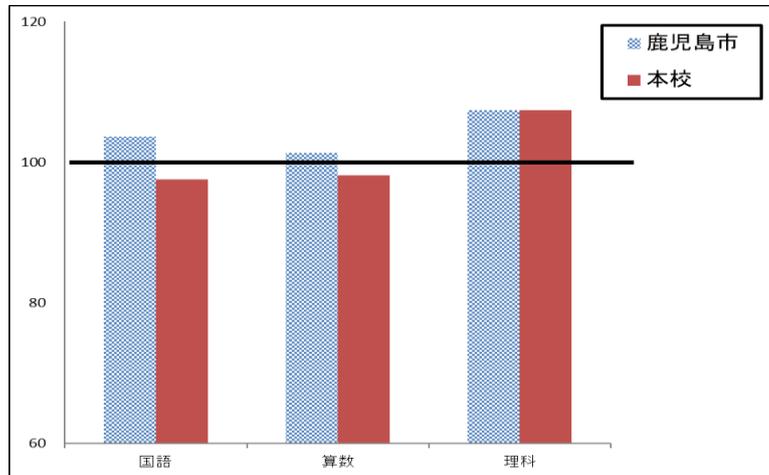
6年生を対象に、4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。学校でも分析を行い、今後の指導に生かしていきたいと思っております。

### 全国学力・学習調査から

全国学力・学習調査の中に、ゲームの時間と学力の関係をみる項目がありました。全体的な傾向として、子供たちの一日当たりのゲームに使う時間が長いほど、全ての教科における正答率は低くなる傾向が出ています。また、多くの体験活動にチャレンジしている子供ほど、教科における正答率が高くなる傾向が見られます。

毎日の過ごし方の時間の使い方はいかがでしょうか。ゆっくりする時間と勉強に向かう時間のバランスを考えて、毎日の過ごし方を考えてみる必要があるかもしれません。再度、各家庭における時間の使い方について、確認をお願いします。

### 1 自校・市・全国の平均正答率の比較 (全国平均正答率を100とする棒グラフ)



### 2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

互いの立場や意図を明確にしながらいかに計画的に話し合い、自分の考えをまとめることに課題が見られました。今後は、相手や目的を明確にし、どのように書くと伝わりやすいかを考えて書くことを習慣付けるための授業に取り組んでいきます。また、漢字の書き取りに課題が見られました。日頃から漢字の書き取り練習に取り組むとともに、日記指導等で使える漢字の量を増やすために、家庭学習の内容を設定したりする活動等に取り組めます。

〈算数〉

割合の問題に対する課題が見られました。割合について数字だけにとらわれるのではなく、割合の概念を押さえ、問題文から読み取れる「数」や「割合」の意味を自分で図や表で表せるように指導を工夫していきます。

〈理科〉

実験で得た結果を、問題の視点で分析して解釈し、自分の考えを持つなど課題が見られました。気付いたことを自分の言葉でまとめる時間を確保し、お互いの意見を交流しながらより確かな学力の定着を図ります。

〈全体的に〉

児童質問紙の結果から、基本的な生活習慣が身に付いており、ICTを活用した授業への意欲が高いことが分かりました。今後は、さらに生活習慣の中に家庭学習習慣も身に付くよう、自ら学習することの大切さが分かるような言葉かけや内容の工夫をしていきます。また、授業の中で子どもたちがICTを活用できる場の工夫などを行います。また、読書の時間が短いことが分かりました。併せて、読書への意識が低いことが分かり活字への抵抗がやや高いことが分かりました。読書や文字に親しむ習慣づけを図りたいと思っております。